

令和3年度事業報告書

- 1 所在地 佐賀県伊万里市東山代町里字蕨野 359 番地 4
- 2 利用定員 就労継続支援B型 20名
- 3 職員定数 10名（パート2名を含む）
- 4 事業開始年月日 令和3年4月1日

5 事業運営報告

- ・今年度、コロナも終息に向かっていると思われていた矢先2月・3月に感染者の増加により、販売等の活動ができなくなりました。又、ワクチン接種3回目や家族の感染者等で利用者・職員の休みも多く、思うような活動も出来ず、販売も自粛したので売上も激減しました。例年セット製品の販売で売上を伸ばしていましたが、今年度は職員が続けて辞める事で移動販売の件数を減らすことになり売上も以前のようにはいかなかった。気持ちを改め、スーパーフードモリングを使った新製品開発（スノーボール・葉っぱクッキー・マカロン）に取り組み、モリングの清々しい緑の色のクッキーが誕生しました。又、今までなかったお雛様セットにより売上アップを図ることができました。自粛期間に、セット製品全般を見直し、作り易く明るく見えるように変え、職員がすぐセット出来るように写真で残し、内容も書くようにしました。経費や仕入れの見直しで利用者平均工賃は35,154円を確保することができました。
- ・運送事業は、伊万里市の公文書を通送する特定信書便事業と県・市の広報紙配布業務・議会だよりの配送業務は新型コロナウイルス感染症の影響を受けず例年通りに活動する事が出来た。今年度も危機管理訓練として訓練を行い、協力し、無事終了した。
- ・相談支援事業は担当職員が辞めたので終了した。
- ・引き続き、施設利用料、送迎費用(ガソリン代)を無料とし利用者・保護者の負担をなくした。
- ・1年間の交流行事は外部との交流を控え、職員・利用者で小規模に行った。

6 就労支援

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、その他就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行った。

7 生活支援

日常生活に必要な基本的習慣を身に付け、さらに自主性を養い毎日の積み重ねによって

社会的適応性を育成し、地域生活が円滑に行えるような支援を目指した。

8 施設運営管理

(1) 施設長以下職員の分担

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表 (3月配布分と同じ)

(2) 防災計画

地震・水害・津波・台風等大規模災害時の施設外避難体制 (3月配布分と同じ)

(3) 訓練

原発事故 11月・防火 7月・水害 7月・地震 12月・不審者防犯 8月・信書便等 3月の訓練を利用者・職員と共におこなった。年度内各訓練 1回 (年合計 6回の訓練)

9 健康管理

- ・消毒を徹底し新型コロナウイルス感染症に備えた
- ・毎日通所後検温し消毒、その日の健康状況を把握した。
- ・毎年 2月利用者・職員の健康診断をし、健康管理を行った。
- ・利用者の健康維持の為、毎週火曜日散歩や体操を行った。